

第 6 回府中市市民協働推進協議会 会議録

- 日 時 平成 2 6 年 1 0 月 1 日（水）午後 3 時～ 4 時
- 会 場 市役所北庁舎第 1 会議室
- 出席者 （委員）
千賀会長、山崎副会長、正満委員、田中委員、戸島委員、
長谷部委員、村山委員、吉井委員
（事務局）
中川市民協働推進本部長、
村越市民活動支援課長兼市民協働推進担当主幹、
岩田市民活動支援課長補佐、板橋市民協働推進担当副主幹、
竹内支援係長、新妻市民協働推進担当主査、佐藤事務職員
（オブザーバー）
松木府中 NPO・ボランティア活動センター事務局長
（運営支援事業者）
株式会社ダイナックス都市環境研究所 山本所長、谷口研究員、
江沢研究員
- 欠席者 太田委員、長島委員、原委員、八木委員、山上委員
- 傍聴者 2 名
- 議 事
1 開会
2 議題
報告書の確認について
3 その他
- 資 料
資料 1 府中市市民協働推進協議会検討結果報告書（案）
資料 2 委員からの意見（第 5 回協議会）

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第6回府中市市民協働推進協議会を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。それでは、事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、太田委員、長島委員、原委員、八木委員、山上委員から欠席とのご連絡をいただいております。現時点で、定数13名中8人の委員の皆様に出席をいただいております。したがって、過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告します。

続きまして、本日の傍聴ですが現在までに2名の方の応募があり、2名の方がいらっしゃっています。傍聴の許可につきまして、本協議会のご判断をいただきたいと存じます。

(会長) それでは、委員の皆さんにお諮りします。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(※「異議なし」の声あり)

(会長) それでは、異議がないということですので、傍聴者の入場を許可いたします。

(※傍聴者入場)

(※入場後)

(※事務局より資料の確認)

(事務局) 資料の確認に続きまして、議題に入ります前に、いよいよ、協議会として、ご議論いただくのは本日で最後となります。

本日は、報告書(案)の確認となります。

次回10月21日には、製本いたしました検討結果報告書をご確認いただいた上で、市長に最終報告を行っていただきます。事務局からは以上でございます。会長、よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、議事を進めます。前回9月8日に実施した第5回の協議会の議事録につきましては、事前にご確認いただいております。

すが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。

(※「なし」の声あり)

(会長) それでは、第5回目の協議会議事録として確定させていただきたいと思います。事務局は、前回の議事録及び資料を、市役所3階情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開するようお願いいたします。

2 議事

(会長) それでは、これより議題に入りたいと思います。議題の1 報告書の確認について、お願いします。

(事務局) 前回協議会におきましては、活発なご議論・ご意見をいただき、ありがとうございました。

本日は、前回の協議会及びその後に委員の皆様からお寄せいただいたご意見を踏まえて、資料1「府中市市民協働推進協議会検討結果報告書(案)」を提出させていただきます。本日も全体的にご意見をいただきたいと考えております。

それでは、修正点等につきまして、コンサルタントよりご説明させていただきます、その後、皆様でご議論をいただきますよう、お願いいたします。

(※ダイナックス都市環境研究所(以下DX)より報告書案について説明)

(事務局) 補足です。事務局預かりとなっておりますサブタイトルですが、「輝くふちゅうのみらいへ～市民協働でスクラム&トライ～」としました。

市長はラグビー経験者ということもあり、随所でラグビーに例えて協働を説明していることは、ご案内のとおりです。特に、今回は職員を中心とした行動計画ですので、このサブタイトルを掲げて、基盤整備や地域課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思います。

また、施策体系図はひとつづくり、コミュニケーションづくり、システムづくりで色分けし、見やすくしました。

(会長) ありがとうございました。ただいま説明のありました内容を踏まえて、全体的にご意見、ご議論をお願いしたいと思います。

前回の意見を踏まえて整理されているようですが、本日で議論が最後ということですので、よろしくお願いします。

それでは、お気付きの点などご意見をお願いします。

(委員) 施策方針3「(2) 情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充」で、「市民協働のまちづくりカフェ（仮称）の実施」があります。ここでワールドカフェという言葉が使われていますが、一般市民には馴染みがないと思います。

また、このまちづくりカフェというのは、講座や勉強会などのソフトを意味しているのか、常設の店舗のようなハードを意味しているのか、どちらでしょうか。

(事務局) ソフト的なカフェです。ハードとしての場は考えていません。

(委員) そうすると、既存の公民館や体育館を使って実施するのですね。実施回数などの想定はありますか。

(事務局) 回数はこれから検討となりますが、複数回実施した方がよい場合は、連続実施なども考えられます。こういった場の設定は、継続的に行うことが大切だと思っています。

(委員) 今の表現では、まちづくりカフェの楽しそうなイメージが伝わりづらいです。意見交換の場づくりは、他にもありませんでしたか。

(事務局) 主体を企業や学生と限定したものはありますが、いろいろな主体が一堂に会する場の設定はここで考えています。

(委員) わかりました。

(副会長) ワールドカフェという言葉は一般的でないので外して、ワークショップなど、の方が分かりやすいです。

(事務局) ワークショップのひとつの例示としてあげたのですが、カフェという言葉が重複しているのも分かりにくいのかと思います。

(会長) この表現では、出たり入ったりできるハード的なカフェがあるように感じます。

(副会長) 言葉の補足を加えた方がわかりやすいです。

また、近年、空き家を利用した世代間交流や高齢者の居場所づくりのニーズが府中でも増えています。

(DX) それはいわゆる「コミュニティカフェ」ですね。

(副会長) そうです。

(事務局) ワールドカフェと書いたのは、いろいろな人が自由に意見交換しやすい方法だと考えたからです。従来のワークショップより、もう少し参加しやすい場をつくり出すという意味でワールドカ

フェを例としてあげました。

(委員) 単にワークショップを行うというだけでは堅苦しいので、ワールドカフェの言葉は外さずに、注釈を追加してほしいです。

(事務局) ご意見をふまえて、分かりやすく整理したいと思います。

(委員) 施策方針8「(3) 政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充」で、附属機関・類似機関とはどういったものでしょうか。

(事務局) 市長からの諮問・依頼について調査や検討する機関ですが、総合計画審議会など条例にもとづいて設置されるものが附属機関、本協議会のような組織が類似機関です。行政の専門的な用語ですが、職員には理解できる言葉です。

(委員) 27ページの(1)5行目「また、先進的な協働事例との調査～」は「また、先進的な協働事例の調査～」だと思いますので、「と」を削除してください。

施策方針2「(1) 職員研修の充実等」について情報提供です。たましんでは、若手職員を中心にボランティアなど社外挑戦をさせているそうです。

インターンシップは、役割の違いを経験することで物事を多面的に見ることができるようになるなど、大きな投資になると思うので、市でも早い時期に実施してほしいです。また、文章にもインターンシップという文言を入れるといいと思います。

(DX) 体験型の研修というのは、インターンシップを含めた表現です。

(会長) 「インターンシップなど、体験型の研修」にしてはどうですか。

(委員) 難しい言葉は増やさない方がいいと思います。

(委員) 施策方針4「(2) 協働コーディネーターの育成及び活用」ですが、府中市でも生涯学習ファシリテーター養成講座を開催していますが、協働コーディネーターと、そういったファシリテーターの違いは何ですか。

(事務局) 生涯学習推進のための役割を担うのがファシリテーターです。協働コーディネーターは、異なった分野の活動をつなぐ役割を担います。職員には、様々な部署をつなぐような役割を期待したいと思っています。

(委員) 言葉の注釈があると分かりやすいです。

(副会長) コーディネーターとは関係団体をつなぎ、連携・連結させる役割で、ファシリテーターはこのような会議をうまくまとめることが役割です。

(委員) よくわかりました。しかし、多くの市民には分からないと思うので、注釈があるといいですね。

(事務局) 文中で説明しているので、もっと詳しい説明が必要かどうか検討します。スペースの関係もあるので、検討させて下さい。

(委員) 第4章、計画のスケジュールで、施策項目1～10の後にページ番号を入れてほしいです。

(事務局) スペースをみて検討します。

(会長) 色の違いが分かりにくいですが、このページはカラーですか。

(事務局) 報告書の段階ではモノクロですが、最終的にはカラーです。3段階で色分けをしています。

(DX) モノクロでも色の違いがわかるように工夫します。

(副会長) 全体を通して、構成も文章も非常によくできていると思います。

施策方針1「(3) 地域を支える各リーダーに対する啓発・情報提供」ですが、学習会に参加した人には修了証書などを発行し、〇〇リーダーなどの称号をあげてほしいです。また、帽子やバッジなどのグッズがあると、やる気がでると思います。

施策方針2「(2) 職員が協働の経験を積むための環境づくり」で一番効果があるのは、職員に府中市に住んでもらうことです。現在は50%程度と、意外と少ないのです。特に震災などの緊急時は、市内在住でないとなかなか駆けつけることができず、協働もできません。在住でなくても府中市への愛着は変わらないと思いますが、いざというときに動けないのでは困ります。

(事務局) 現状は、近くに住んでいる職員が初動班として駆けつけることになっています。また、交通機関が使えない場合の訓練も定期的に行っていて、どの程度の時間で職員が参集できるか把握して、緊急時に対応できるようにしています。

(副会長) わかりました。

(委員) サブタイトルですが、市長のラグビーに例えた訓示は、職員には浸透しているのですか。

(事務局) インタビュー等でもラグビーに例えているので、浸透していると思います。行動計画を周知する際は、どういう意味が込められているのかも伝えてまいります。

(委員) よろしくをお願いします。

(委員) 府中市にはラグビーのプロチームが2つもあり、いわばラグビーのまちでもあるので、いいサブタイトルだと思います。

(会長) 他にありませんか。

委員の皆様、本日もたくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

事務局は最後に誤字脱字がないか、再度確認をしてください。修正については、事務局と相談のうえ、会長預かりとします。それでは、これをもって、検討結果報告書として確定させていただきます。

3 その他

(※事務局より、次回第7回協議会及び最終報告書の提出を、10月21日（火）午後4時から、第3会議室で開催する旨を告知)

(会長) 以上をもちまして、本日の協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。